

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [労働安全衛生](#) | [安全衛生活動の「キーワード」](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)
[▶ キーワード検索はこちら](#)

### 安全衛生活動の「キーワード」

#### 1. 安全衛生は「実践哲学」

→実践とは「知行合一」 哲学とは「人間尊重」

- ①知識と行動・理論と実践の一体化。
- ②安全文化（安全第一）の職場形成。

#### 2. 安全第一とは

→安全第一は安全標語にあらず「経営方針」

#### 3. 安全衛生に妥協なし

→「命」「手・足の切断」等、身体は戻らない

- ①自分の体は自分で守る（自己防衛）⇒主体性
- ②愛情のある厳しさ管理。⇒管理活動の基本

#### 4. 安全衛生は相互補完

→相互注意（声掛け活動）による補い合う活動

- ①三本の矢（たばねの知恵）

#### 5. 安全衛生活動の目的をわきまえる

→直接的な目的「災害の防止」「健康障害の防止」による「心身の健康の確保」は通過点に過ぎず。

#### 6. 安全衛生活動の真の目的は「できる人」「できた人」づくり（人材育成）

→「できる人」とは労働に関する能力を高度にもつこと  
「できた人」とは人柄、人間性のこと。魅力的な人のこと。

#### 7. 労働の中で体現する安全衛生の実践に必要な「勇気」

→日常活動に意識しない安全衛生、したがって定常活動の逸脱につながる行動には勇気が必要。

※安全の知識・技術技能を持っていても具現化されなければ、持たないのと同じ。

#### 8. 安全衛生活動の基本中心は「管理活動」

→法的責任を言うまでもなく、「人・モノ・環境」に影響を与える「管理監督者」の言動が左右する。  
安全の三管理・衛生の三管理を十分に理解すること。

#### 9. 管理の基本は

→①法令違反をしないこと。 ②やるべきことをやること。 ③やるべきことを守らせること。  
そして、「一切の責任は管理監督者にあること」を明言すること

#### 10. 労働者にも義務がある

→安衛法の第20条～25条にその基本がある。

同時に「知る権利」「参加する権利」「退避する権利」の行使を。「やらされている活動 やる活動へ」

#### 11. 安全衛生は経営へ内在化

→「安全・品質・生産」は三位一体のもの、切り離すことはできない（認識の世界では切り離して理解する）。

ところが、生産向上には上限がない。安全衛生活動には上限がある。益々乖離が拡大している。

労働そのものを「営み」と認識し、生産は無形から有形を「営み」によって作り出した姿、そしてその出来栄が「品質」である。

なお、「営み」こそが安全衛生である。

これは、営み（安全衛生）が基礎となって生産・品質があることを十分に認識すべきである。

したがって、安全・生産・品質は融合的に捉える必要がある。

#### 12. 未熟技術（生産）の谷間で

→新しい物質（技術）は新しい商品・製品の及び工法の開発につながり、人々の生活領域を拡大し、豊かにしてくれる。しかし、その製造に係る労働者の安全を考えた技術開発が同時に行われなくては、技術としてはまだ未熟である。

産業革命後の産業社会は、労働を人工物を中心とした工具で、人工物を創造するという自然から遊離した環境の中で、生活の営み（労働）が行われるようになった。

自然中心（補助的に人工工具を使用）の営み（労働）の時代は、人間の防衛本能が働く時代でもあったが、工業化時代から今日は、そのような人間の動物としての自己防衛本能が効きにくい、働かない時代となった。

したがって、それを補うのは「安全衛生活動」・教育訓練学習を通し、心身に取り込まないと危険回避が難しい。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

▶ サイトマップ ▶ このサイトについて ▶ 個人情報保護の取組みについて

▲ ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.